

令和4年10月28日(金)

【研修内容】

○保健教育 授業研究 (授業者:佐藤 智望)

6校時 5年生「みんなとさらに仲を深められる声のかけ方ってなに？」

【研修の目的】

○研究協議を通して、自己の課題を見つけ、保健教育を推進するための力量向上を目指す。

【単元計画】

第1次 みんなとさらに仲を深めるための声のかけ方を考えよう……1時間(本時)

【本時の目標】

これまで経験してきた友達とのコミュニケーションを事例と関連付けて振り返ることを通して、よりよい人間関係を築くための声のかけ方を考える。

【授業の実際】

5年間を共に過ごしてきた友達との関係を振り返り、自分の理想とする友達関係とのギャップに気付いたところから、紙芝居を使って【外に遊びに行く時に、本を読んでいる友達を見つけた場面で友達に声をかけるなら】という設定を示し、声かけのしかたを話し合う学習をしました。「相手を誘う」「声をかけて相手の反応を伺う」「相手のしていることを自分も試してみ、話のきっかけにする」など自分よりも相手のことを考える意見が多かったことが印象的でした。

児童が共感しやすい場面を取り上げて共に考え、自分たちの日常と繋げることで、自分事として捉え、相手意識について考えるきっかけとなりました。

協議会では、課題の接近についての話題が出たり、今回の設定にとどまらず、子どもたちの日常場面に落とし込んで考えるためにはどうしたらいいか意見交換を行ったりしました。

